

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	トヨタ記念病院 看護学校新築工事		階数	地上3F
建設地	愛知県豊田市平和町1丁目62、他15		構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、法第2		平均居住人員	200 人
気候区分	5地域		年間使用時間	1,200 時間/年
建物用途	学校 集会所		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年11月 予定		評価の実施日	2018年10月25日
敷地面積	6,027 m ²		作成者	白石 智子
建築面積	1,824 m ²		確認日	2018年10月25日
延床面積	4,330 m ²		確認者	和田 克明



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 71%
③上記+②以外の 71%
④上記+ 71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">4.1</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.0</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">9.8 %</td> </tr> <tr> <th>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.0 %</td> </tr> </tbody> </table>	外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)	9.8 %	建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)					
9.8 %					
建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)					
0.0 %					
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.5</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th><外装材に使用した地域性のある材料></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> <tr> <th><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> </tbody> </table>	<外装材に使用した地域性のある材料>	なし	<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>	なし
<外装材に使用した地域性のある材料>					
なし					
<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>					
なし					

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

3 対応性・更新性				3.4	0.29			-	3.4
3.1 空間のゆとり		②	階高は4.2mである。 壁長さ比率:0.18。	4.5	0.31			-	
1 階高のゆとり				5.0	0.54			-	
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.46			-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31			-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38			-	
1 空調配管の更新性				3.0	0.17			-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.17			-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.11			-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.11			-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.22			-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.22			-			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30			-	2.7
1 生物環境の保全と創出		独自③		2.0	0.30			-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		3.0	0.40			-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30			-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		3.0	0.50			-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50			-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.8
LR1 エネルギー					0.40				4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制			断熱性能の高い建築外皮材料(断熱材・窓材等)を使用している。	5.0	0.30			-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20			-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEIm=0.58	5.0	0.30			-	5.0
4 効率的運用				2.5	0.20			-	2.5
集合住宅以外の評価				2.5	1.00			-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50			-	
4.2 運用管理体制				2.0	0.50			-	
集合住宅の評価								-	
4.1 モニタリング								-	
4.2 運用管理体制								-	
LR2 資源・マテリアル					0.30				3.8
1 水資源保護				3.6	0.15			-	3.6
1.1 節水			給水器具の過半に節水機能のあるものを採用している。	4.0	0.40			-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.3	0.60			-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67			-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			工水を生活用水に利用している。	4.0	0.33			-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.9	0.63			-	3.9
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.07			-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.25			-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②		3.0	0.21			-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	天井:ロックウール化粧吸音板、OAフロア、断熱材	5.0	0.21			-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-			-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	躯体と仕上材の分離が容易である。	5.0	0.25			-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.22			-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			有害物質を含まない材料を1種類使用している。	4.0	0.32			-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.68			-	
1 消火剤				-	-			-	
2 発泡剤(断熱材等)			ODP=0、GWP<50の断熱材を使用している。	4.0	0.50			-	
3 冷媒				3.0	0.50			-	
LR3 敷地外環境					0.30				3.5
1 地球温暖化への配慮		①	CO2排出率:71%	4.1	0.33			-	4.1
2 地域環境への配慮				3.3	0.33			-	3.3
2.1 大気汚染防止			オール電化のシステムとしている。	5.0	0.25			-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50			-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.2	0.25			-	
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25			-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25			-	
3 交通負荷抑制		独自		2.0	0.25			-	
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25			-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33			-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40			-	
1 騒音		独自		3.0	1.00			-	
2 振動		独自		-	-			-	
3 悪臭				-	-			-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40			-	
1 風害の抑制				3.0	0.70			-	
2 砂塵の抑制				-	-			-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30			-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20			-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			光害対策ガイドラインのチェックリストの一部を満足している。	4.0	0.70			-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30			-	

重点項目スコアシート

トヨタ記念病院) 看護学校新築工事

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.1
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.1	0.10	
② 資源の有効活用				3.5
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.9	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:9.83%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 トヨタ記念病院) 看護学校

計画上の配慮事項	
総合	愛知県豊田市に計画された看護学校である。 断熱性の高い材料の採用と高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・全面的にF☆☆☆☆の材料を使用している。 ・居室に開閉可能な窓面積を多く確保することで空気質環境に配慮している。
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数の長い内装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 ・階高を高く確保することで、設備の更新性に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内を積極的に緑化を行い、緑の量の確保に配慮している。
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・断熱性の高い材料を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。 ・高効率な設備機器を導入し、エネルギーの効率的利用に配慮している。
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・節水器具を積極的に採用し、水資源の保護に配慮している。 ・再利用可能な部材を採用し、非再生性資源の使用量削減に配慮している。
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> ・燃焼設備を設けず、建物からの大気汚染物質発生に配慮している。 ・屋外照明の計画は、周囲への漏れ光に配慮している。
その他	-